

西南学院大学・ 図書館報

No. 4 4

1969 年 12 月 24 日 発行

福岡市西新町

西南学院大学図書館

国連寄託図書館に指定された意義

図書館長 清 田 正 喜



人工衛星が飛びかい、電子によるマス・メディアが高度に発達した今日では、世界のどの国民も時代の流れのそとに孤立することは許されなくなりました。

た。政治・経済その他あらゆる問題について、わたしたちは今後ますます国際的な関係を密接にして生きていくことになるでしょう。近年、国際活動の進展にともなって、国際関係に寄せる一般の関心がとみに高まってきたのは当然のこととされます。その意味で、この西南学院大学に国連寄託図書館が設置され、多数の国連ならびに国際関係の資料が寄託されるようになったことはまことに意義深いことであると思います。これらの資料は、現代の世界が直面している政治・経済・貿易・労働その他あらゆる問題に関する国連の議事・報告・統計をまとめた資料ですから、単に本学の研究者や学生にとって有益であるばかりでなく、広く西日本の学界、産業界にとっても、この上ない貴重な研究資料であるといえます。したが

って、国連寄託図書館の活動には多くの人々の期待が寄せられているわけです。国連寄託図書館は日本全国で、わずかに9館しか設置されておられません。しかもそのほとんどが国立大学か公立図書館であり、私立大学ではわが西南学院大学ただ一館だけであります。その点でも国連寄託図書館の特色を十分に生かし、その趣旨に最もよく沿った活動をしていきたいと思っています。現在、国連寄託図書館は、大学図書館四階の一隅に仮住まいのような形でおいていますが、できるだけ早急に一階に移して、もっと十分に利用できるようにしたいと考えております。そして自由な明るい雰囲気のものとし、一般にも広く公開して各資料の活用をはかってもらうつもりであります。

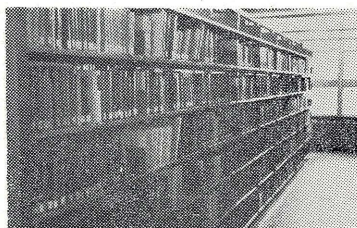
また、その資料も、国連本部の刊行物やドキュメントはもちろんのこと、国連諸機関その他の関連資料まで多数収集しております。

最近 OECD（経済協力開発機構）、IMCO（政府間海事協議機関）などからも、さらに寄託図書館として指定されましたし、またアメリカ文化センターのご尽力により米国政府刊行物も多数備えられることになりました。

今後とも、ますます内容の充実をはかって、国連寄託図書館の存在を本学の誇りの一つとしていきたいと願っています。

本はどのように書架に並んでいるか

図書館案内シリーズ その2



◀ 書架に並んでいる図書

前号の分類より配架まで、に続いて、配架はどのようなになっているか、階をおって述べてみましょう。

1階 整理がすんだ図書はまず1階学習室の新着棚に並べられ、毎週火曜と金曜に入れかえそれぞれの閲覧室に配架されることになっていますが、この間は館内閲覧のみで館外帯出はできません。そのほか、常置されているものに、百科事典・哲学・政治・法律・経営・会計等の辞書類の一部と、先生方の選定による学習用必修図書が並べてありますので、学習室内で利用して下さい。又就職試験問題集もおいてありますが、これは館外帯出が出来ます。

2階 新着展示期間が過ぎますと、次の分類に該当する図書はこの階に収められます。

- 000 総記……図書館・書誌学・百科辞書及び一般的論文集・全集等
- 100 哲学……哲学全般・心理学・宗教
- 200 歴史……歴史全般・伝記・地誌・紀行
- 370 教育……教育学・教育史・大学教育等
- 400 自然科学……数学・物理・化学・天文学・地

学・生物学・動植物学・医学・薬学

700 芸術……芸術全般・保健体育・娯楽

800 語学……英米仏を除く各国語

900 文学……英米仏を除く各国語

3階 300 (除370) 社会科学……政治・法律・経済・財政・統計の一部・社会・民俗・軍事
500 工学……工業全般・工業所有権・工業経済・採鉱冶金・家事等

600 産業……農業・水産・商業・市場・貿易・会計・交通・通信等

800 語学……英米仏各国語

900 文学……英米仏各文学

及び児童教育科関係の図書はこの階の一番奥に並べてあります。又開架分の洋書はこの階に集められています。

4階 書庫になっていて次の図書が収蔵されています。洋書の大部分 製本済雑誌類・各種統計書・和装本・限定出版物・文庫新書本のような小型本

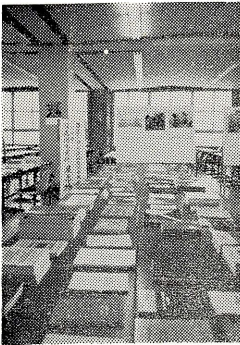
これ等の図書は目録の下部に **Closed** の印が押してあるので、利用したい方は係員に請求して下さい。洋書は大部分が閉架なので、押印が省略されています。

以上でこの稿を終りますが、分類表示が紙面の都合で粗雑になっていますが、少しくわしい表を希望の方は「利用案内、1969年版」の残部を学習室に置いておきますので、自由におとり下さい。(杉本)

寄贈図書

- 古賀武夫教授より ニューヨーク事業会社法 ほか10冊
- 城戸春分生教授より 九州の結核
- 白井正教授より イデオロギー闘争と国際法
- 清水喬太郎氏 (67—908) より (後藤教授経由) 学術雑誌数10点 (唯物論研究ほか)
- 住吉大社より (山中耕作講師経由) 住吉大社神代記
- 梶原禎夫氏より Marketing: Principles and methods ほか3冊
- 在日フランス大使館より (中村栄子助教授経由) Dictionnaire du francaise contemporain ほか8冊
- 福岡アメリカ文化センターより Using good English ほか12冊
- 九州経済調査協会より 九州経済白書 44年度 ほか2冊
- 九電企画部より 電気事業講座 1～15巻

ニュース



OECDならびに国連関係資料展示会催さる

さる11月12日～14日の3日間、図書館1階にて、OECDならびに国連関係資料の展示会が催された。この展示会は本学の教職員・学生をはじめ、市内および周辺の大学や経済団体・銀行 会社・報道関係などにも広く案内され、多数の来場者があり、本学国連寄託図書館の認識が深められた。

図書館委員会

- 44. 9. 19 (議題) 寮貸出図書について ほか
- 44. 10. 17 (議題) ①複写装置利用規則の改正について ②卒業論文製本代金について ほか
- 44. 10. 31 (議題) 昭和45年度図書館経常予算申請案について ほか

職員会

- 44. 9. 3 ①仕事の記録について (館長)
②洋書整理業務研修発表 (広津)
- 44. 10. 16 ①整理業務・奉仕業務の改善案(司書長)
②研修発表—大学図書館におけるレファレンスの機能 (司書長)
- 44. 11. 19 和漢書整理業務研修発表 (田中)
- 44. 12. 3 特別帯出図書の取扱いについて



館長室に
おける司
書会

司書会

- 44. 9. 1 総記関係図書の選択について
- 44. 10. 9 資料の取扱い方法について
- 44. 10. 21 OECD・国連資料展示会の実施方法について
- 44. 10. 28 短大図書の開架冊数の増加申入れについて
- 44. 10. 31 45年度予算案について
- 44. 11. 4 総記関係図書の選択について

- 44. 12. 4 ①文献情報の刊行案 ②学術雑誌目次複写サービス実施案 ③一般図書の選定方法改定案
研修・出張

○私大西南地区研究会

- 44. 10. 4 (会場別府大学)「大学図書館奉仕について」(山下司書長研究発表)

○福岡地区研究会(会場福岡女学院短大)

- 44. 10. 15 山下司書長出席
- 44. 11. 12 品川司書補出席
- 44. 12. 10 伊藤課長補佐出席

○専門図書館協議会

- 44. 11. 10～11 (会場九州経済調査協会)「大学図書館の運営管理の現状と課題」(山下司書長講演)

○国立国会図書館・文部省・日本図書館協会

- 44. 11. 12～13 清田館長、山下司書長出張

○私立大学図書館協会西地区部会

- 44. 11. 14～15 (会場大阪商業大学) 清田館長、山下司書長出席 ①役員会 ②「大学図書館のレファレンスの機能」(山下司書長研究発表)

規則改正

図書館に電子リコピーが設置されたのにもなつて、文献複写規則が改正され、11月1日から次の新料金となりました。

サイズ	単位	電子リコピー	ゼロックス
A 5 以下	1 枚	10 円	30 円
B 5	〃	15 円	
A 4	〃	20 円	
B 4	〃	25 円	

米国政府刊行物の継続寄贈

福岡アメリカ文化センターから、多数の米国政府刊行物が本学国連寄託図書館に継続寄贈されることになった。

そのご好意に対して、12月3日学長および図書館長から文化センターのベリングトン館長に感謝状が贈られた。

図書館の環境ととのう

かねてから図書館の前庭の美化が望まれていたが、このほど、花壇と、道路の舗装と南天の植込みが完成した。

どうかこのような環境を大切にしていきたい。

思いつくこと

館員 坂 口 の ぶ

＊ ＊ ＊

図書館では毎年11月の末頃から卒論の作成に忙しい学生さんが一杯で、四年生になってはじめて図書館に来られる方も多く、一年生と同じ様に、オーバーや荷物をロッカーに入れて下さ

い。鍵を返して番号札とかえてくださいとか、帯出証の書き方もいちいちテレサそうに教えられて、書いておられるのを見ると、せっかく毎年図書費を払って、もう少し早くから利用されたらよかっただらうとその度に思います。

図書館に入るのは、めんどうだからとか、思うような本がないからとかいう理由をつけて、来られない方もありますが、半ばな時間がある時、少し位のめんどうはがまんして、直接本に接する事が出来るのですから、時間をかけてゆっくり本を見て廻り、どんな本がどこににおいてあるかという事を覚え、目録を検索して、自分の読みたかった本を見ついたりして、探し出す喜びが味わえるのではないかと思います。

卒論を書く時になって、あわてて、いろいろと文献や本を探し、図書館には何もないとこぼされる方、あきらめる方が多いのですが、もう少し前から揃えて貰うよう、希望されたらよいと思います。購入希望の申込を出される方に何日位たった本を見る事が出来るのかのべてみましょう。まづ購入請求書を担当の先生に廻し、購入してよいかどうかをお伺いして、購入許可の捺印を頂いて、注文書を発注します。それまでにかかる日数が、3日から一週間以上。その本が店頭にない場合、版元に注文された場合は10日程の日数がかかり、絶版の返事がくるのもその位かかります。それから整理をして貸出されるまで一週間位はかかります。和書に要する日数が大体この位ですが、洋書はたいてい店頭にないので、外国発注となりますので、本が到着するまで三ヶ月以上はかかります。一ヶ月位前に注文されても到底間に合わない事をよく知っておいて下さい。

本が必要な事はよくわかりますが、卒論の期限がせまってからでは、どうにもなりません。来年書かれる方はこの事をよく知って、早めにテーマをきめ、文献を集めておかれたらよい卒論が出来るのではないかと思います。毎年毎年繰返される事ですが、作成される方も館



員の方もなんだかやりきれぬ気持ちになり、後味の悪い思いをします。どうかいつまでも思出に残るよい卒論を書いてください。誰でも目前に迫らないとなかなか、始まらないものですが、時間に余裕のある時、色々資料を書き写したり、複写をとって集めておかれたら卒論を書かれる時、十分役に立つのではないかと思います。

必要な箇所はあなただけが必要な場所ではなく、誰もが大切な所ですから、切り取ってもっていったりしないで、書き写す時間がなければ、複写を頼んで、他の人達の迷惑にならないようにして下さい。

せっかく図書費を払っているから、その分だけは、貰っていかねば損だとかいうような考えを、お持ちの方はないと思いますが、皆が利用したい本がよく行方不明になり、その人達を失望させるのは、ほんとに心苦しい事です。皆が気持ちよく利用できる図書館であるために、学生の方のご協力をお願いしたいものです。

告 知 板

○ 冬休長期貸出 12月18日(木)から実施。
冊数は3冊以内、期限は1月16日まで。

○ 年末年始の休館など

12月25日(木) クリスマス 休館

〳 26日(金) 開館・9時～17時

〳 27日(土) 開館・9時～13時

〳 28日(日)～1月5日(月)

年末年始の休館

1月6・7日(火・水)

開館・9時～17時

〳 8日(木) 以後平常開館

○ 卒業論文製本代金の納入

卒業論文は、製本のうえ図書館に保存されることになっています。したがって、卒業論文の提出は、製本代金を経理課に納入し、その領収書を添えて論文を教務課に提出するようにしてください。卒業論文製本代金は次のとおりです。

商学部・経済学部学生 1人につき 220 円

文学部英文学科学生 1人につき 80 円

(あとがき)

このほど図書館の北側に南天の植えこみができたり、閲覧室に花が生けられたりして、読書の雰囲気づくりがなされている。卒業論文の作成に忙しい四年次の学生諸君をはじめ皆さんが、心を落ちつけて読書にいそまれることを願っている。

(伊藤)